

平成16年度 前期開催講座を紹介します

親子七宝焼講座

今年度から新たに七宝焼の講座を開講しました。県立高校で美術を担当されている先生方を講師に迎え、24組の親子がブローチや指輪などの作品を作りました。



① 磨き上げた銅版の上に色ガラスの粉やチップを並べて文様を描いていきます。1日目は不透明なガラス、2日目は透明なガラスを使った、複雑な文様に挑戦しました。



③ 焼き上がった作品は、流れ出したガラスをていねいにヤスリで磨いて台座にはめ込みます。これらの作業はプラザ支援ボランティアの方々にお手伝いいただきました。

親子囲碁講座



② 約800℃に熱した窯で1～2分ほど加熱すると表面のガラスが溶け出します。ガラスの微妙な混ざり具合はここで決まります。火傷をしないよう軍手をし、慎重に取り出します。



夏休み親子特別講座の一つとして、日本棋院いわき支部の皆さんを講師に迎えて実施しました。

少数精鋭の講座になりましたが、きめ細かい指導を受けることができ、メキメキと上達しました。子どもたちの方が飲み込みが早く、大人の方が考え込むシーンが多かったです。

華道講座Ⅱ

華道講座は、小原流と梶井華道会の2つの流派を行っています。今年度は昼・夜のコースに分けて4回の講座を予定しており、8月までに前半2回の講座を終了しました。それぞれ初心者を対象とした8回の講座で、四季折々の花を使って生け花に親しみました。

また、いわき華道連合会には、開館当初から4階と5階の市民ロビーに生け花を展示していただいております。来館される市民の心に潤いを与えています。



いわきヒューマン
カレッジ開講

平成16年度「いわきヒューマンカレッジ」入学式が、平成16年8月28日、いわきワシントンホテルで開催されました。

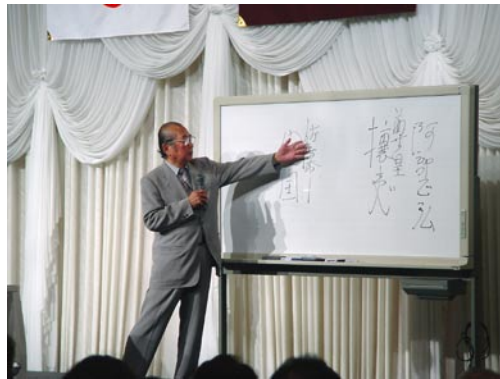
8回目を迎えた今年度は、新たに心理学部（いわき明星大学）を加え、福祉環境学部（東日本国際大学）・環境共生学部・いわき学部と合わせ4学部を開講します。

今年度は各学部とも市民の皆さんの関心が高く、特に人気の高い心理学部では受講生が337名を数え、受講者全体の年齢層も15歳から87歳と幅広くなっています。入学式では、四家啓助市民大



入学生代表挨拶をする心理学部の長澤唯美さん

学理事長（いわき市長）・童門冬二学長があいさつした後、入学生605名を代表して、心理学部の長澤唯美さん（いわき秀英高校1



童門冬二学長による基調講演

年）が代表挨拶を行いました。最年少とは思えない堂々とした口調で、「受講の機会を与えられたことに感謝し、生涯学習の推進に役立てるよう精進してまいります」と受講にあたっての決意を述べています。

引き続き行われた童門学長の基調講演『幕末は日本の青春―新撰組―』には一般市民を含めた920名の聴講者があり、NHK大河ドラマでのエピソードを散りばめたユーモア溢れる話に興味深く聞き入っていました。

生涯学習フラザからのお知らせ

平成16年度 エル・ネット
オープンカレッジ開講

平成16年度エル・ネット「オープンカレッジ」公開講座の12月分までの放送スケジュールが決定しました。生涯学習プラザでは、今年度も全講座の放送を上映する予定です。

「オープンカレッジ」は、文部科学省が衛星放送を利用して実施する大学公開講座です。各種分野の講座から自由に選択し、どなたでも無料で聴講することができます。

期間 平成16年8月7日
～平成17年2月末
日時 午前10時～12時
(火～金曜日)

午後1時～5時
(土曜日)

場所 4階情報交換フロア
プラザ5階受付で無料配布します。

ビデオ 各講座の収録ビデオを貸し出します。
その他 詳細は生涯学習プラザ(0246-371-8888)までお問い合わせください。

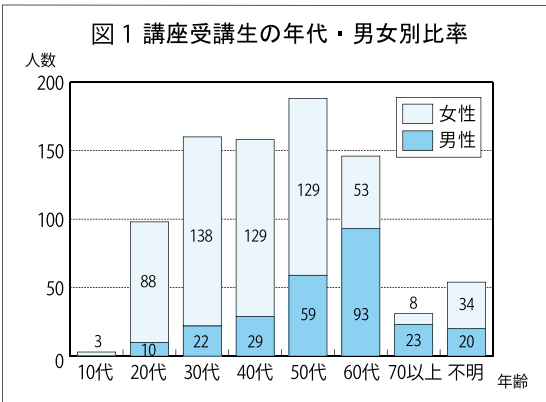
8月		
北海道医療大学	7日(土)	『お口の健康セミナー』
東洋大学	7日(土)	『21世紀の保健・医療・福祉を考える―薬害・難病問題研究の立場から―』
松山東雲女子大学	14日(土)	『子どもと現代家族―巣立ちへの子育てを考える―』
群馬県立女子大学	14日(土)	『「群馬」を知る』『群馬の万葉歌』
山梨県立女子短期大学	28日(土)	『東南アジアの幼稚園・保育園―国際化時代に生きる子どもたち―』
慶應義塾大学	28日(土)	『身近になるロボット―人とロボットの共存―』
9月		
東北芸術工科大学	4日(土)	『eポートフォリオ入門―IT活用で生涯学習を80倍面白くする方法―』
八戸大学	18日(土)	『地域社会とGIS(地理情報システム)』
滋賀医科大学	25日(土)	『わかりやすい心臓病治療最新線』
10月		
上智大学	2日(土)	『ケアの思想―キリスト教と仏教のアンゲルから―』
新潟大学	9日(土)	『腎臓の病気』
千葉大学	9日(土)	『薬(わら)を燃したら笑われる―薬の文化の再生を考える―』
徳島大学	23日(土)	『阿波踊りを学ぶ』
岐阜大学	30日(土)	『自然と人間の関係を考える―スリランカ古代灌漑文明はなぜ滅びたか―』
琉球大学	30日(土)	『琉球芸能の世界』
11月		
常磐大学	13日(土)	『子どもの心理』
富山県立大学	13日(土)	『海をめぐると環境―日本海学の視点から―』
山梨大学	27日(土)	『発達学中級と教育実践学中級』
広島大学	27日(土)	『物質の世界』
12月		
東京学芸大学	11日(土)	『特別支援教育の基礎的理解』
九州産業大学	11日(土)	『情報技術(IT)革新によって生活はどう変わるか』

*日付は各講座第1回目の放送日

生涯学習に関する調査研究

生涯学習に関する市民アンケート調査

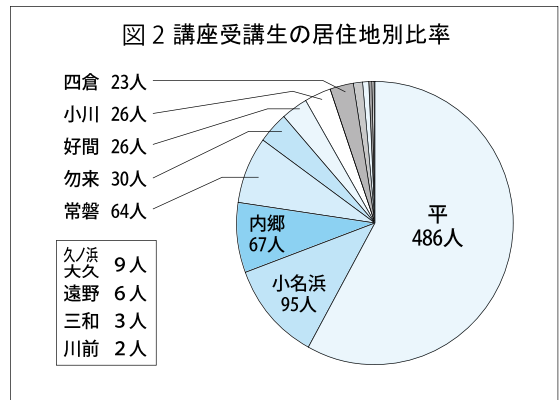
= 生涯学習プラザの講座受講者について =



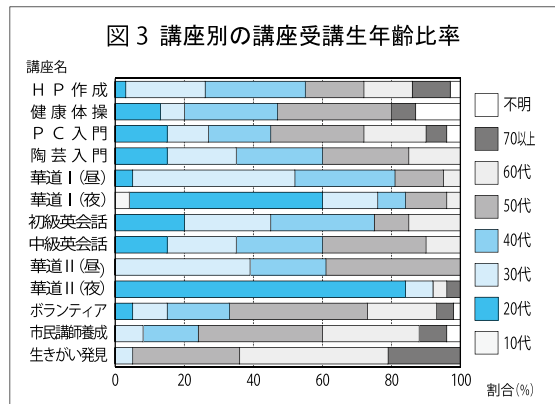
いわき市生涯学習プラザでは、学習事業のひとつとして各種の講座を実施しており、これまでに多数の市民の皆様に参加いただいております。当プラザでは、これらの講座をより市民の皆様のニーズにあった充実したものとするため、受講者の皆様にアンケートをお願いしています。

アンケートは無記名選択式で、「性別・職業など」「受講した講座について」「いわき市生涯学習プラザ主催講座全体について」の3分野について質問しています。このうち今回は、平成15年度主催講座受講生の性別や職業・年齢など、回答者の属性に関する結果について、

平成15年度は合わせて37コースの講座を開講し、延べ838人の受講生を受け入れました。図1は年齢別に見た男女の割合で、全体としては女性の割合がほぼ7割を占めています。年齢別に見ると、女性は20歳代から60歳代まで幅広く受講しているのに対し、男性は若年層が少なく60歳代に最大値が見られる、対照的な年齢分布を示しています。図2は居住地区別の受講人数で、当プラザの立地する平地区が過半数の486人を占め、小名浜地区95人、内郷地区67人、常磐地区64人、

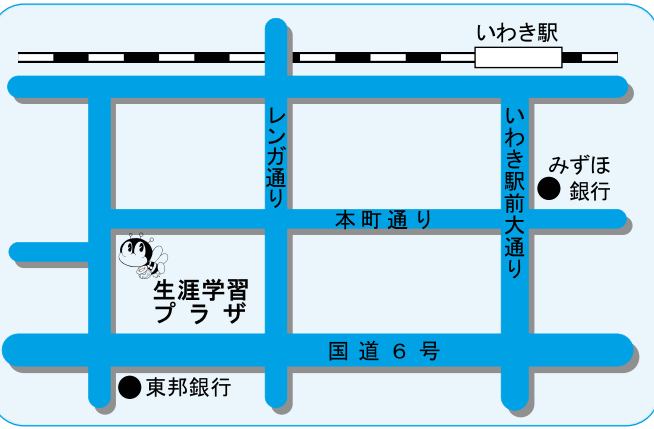


て、グラフを用いて簡単にお知らせします。



と続きます。受講者は少ないですが、遠野地区や川前地区からの受講者も見られ、市内全域におよびます。図3は主な講座の年齢別の人数で、講座毎に特徴的な分布を示しています。パソコン関連や英会話・陶芸などは各年代に受講生が見られますが、健康や生きがい発見などでは50歳代以上に受講生が集中しています。また、昼と夜に分かれて開講した華道と茶道については、昼に高齢層が多く、夜に若年層が多い特徴が認められます。

他の調査項目についても現在分析中で、今後、機会を見て皆様にお知らせする予定です。



生涯学習プラザへのアクセス

- JR常磐線いわき駅より徒歩9分(600m)
- 常磐自動車道いわき中央ICより車で約10分(5km)

〒970-8026
 いわき市平字一丁目1番地 ティーワンビル内
 TEL: 0246-37-8888 FAX: 0246-22-5555
 電子メール: info@isgp.jp
 ホームページ: <http://gakusyuplaza.city.iwaki.fukushima.jp/>